

平成30年度 指定管理者施設管理評価シート

		部課名	文化産業観光部文化振興課
施設名称	4 東京都台東区立朝倉彫塑館	指定管理者	公益財団法人台東区芸術文化財団
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H27. 4. 1 ~ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的]	台東区名誉区民であり、日本彫塑界最高峰を極めた朝倉文夫の彫塑芸術作品を気軽に鑑賞できるようにすることで、親しみと理解を深め、芸術文化の向上に寄与するとともに、区民文化の振興を図る。
(2)	[所在地]	台東区谷中7-18-10
(2)	[規模]	延べ床面積 1,085.02㎡ R C造(アトリエ) 木造瓦葺(住居) 地上3階地下1階 屋上/ポンプ室、機械室、事務室、アトリエ、住居等(公開部分 洋室、和2室)、展示室、収蔵庫(R C造)、庭園など
(3)	[委託事業]	彫刻、彫塑像等の美術作品の収集、保管、展示。朝倉文夫に関する資料の展示。彫塑等に関する調査及び研究。施設の利用に関する事業。施設、付帯設備及び物品の保全・調整などの事業。
(3)	[自主事業]	特別事業「移管30年記念特別展 朝倉文夫 撰 響子 三人展」(講演会、ギャラリートーク)、ギャラリートーク、キッズサポーター、バックヤードツアー、特集展示「時代を創った人物『2』『3』『4』」「動物表現の魅力」
(4)	[利用者]	全来館者
(4)	[利用料金制]	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他()
(5)	[開館日・時間]	休館日(月曜日/木曜日/12月29日~1月3日/特別整理期間)を除く 開館時間: 午前9時30分~午後4時30分(入館は午後4時まで)
(6)	[人員体制]	10名 (内 訳) 常勤(1) 派遣職員(1) 再任用(1) 区政嘱託員(1) 研究員(1) 専門員(1) 特例嘱託員(4) (前年増減) 再任用1名減 特別嘱託員1名増

2. 予算決算		28予算	28決算	29予算	29決算
収入	委託料(指定管理料)	28,512,000	24,950,294	28,468,000	26,026,653
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入()	0	0	0	0
	計	28,512,000	24,950,294	28,468,000	26,026,653
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	3,072,000	2,592,520	2,940,000	2,622,668
	維持管理費(委託料・賃借料)	21,793,000	19,391,041	21,444,000	20,110,141
	修繕費	1,044,000	568,080	1,071,000	630,720
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(印刷製本費・消耗品費など)	2,603,000	2,398,653	3,013,000	2,663,124
	計	28,512,000	24,950,294	28,468,000	26,026,653
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
開館日数	日	250	253	254	253

4. 成果指標	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
入館者数	人	45,000	43,894	47,522	45,010

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

館への行き方について周知方法を検討し、御殿坂に案内看板を設置することで、来館者がアクセスしやすいように環境を整備した。また冬季の防寒対策として、蘭の間に絨毯を設置した。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	区に対し適切なタイミングで連絡を取り、また、必要な事項については区と協議しながら、適正な管理体制のもと運営が行われた。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	前年度に行った区制70周年記念事業の無料入館者数が減となった影響が有り、入館者数が前年度実績を下回ったものの、開館50周年記念特別展など、魅力ある企画を行い、施設目的に沿った適正な事業運営を行っている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	敷地全体が国の名勝、主要な建物が登録有形文化財である施設、庭園について、日常巡回、定期点検を行い、万一変化があった場合においては、遅滞なく細やかに区に報告された。また、備品・物品についても、リストを作成し適切に管理されていた。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	館独自で行っているアンケート調査などで寄せられた要望・意見などを、定例ミーティングで職員内に周知し共有することで、サービス向上を図っている。また、来館者が来館しやすく、見学しやすい環境づくりに努めた。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	経費節減に努め、適正に予算の執行がなされているものの、入館料収入が予算より減少したため、入館者数増の更なる工夫が必要である。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
3 点	開館50周年記念特別展「猫百態 -朝倉彫塑館の猫たち-」の開催により、幅広い年齢層の入館者から好評を得て、前年同時期の特別展よりも入館者数が約7千人増えるなど、有料入館者数が増加した。

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (100 / 110点)	<p>【所見】 敷地全体が国の名勝、主要な建物が登録有形文化財である館として、施設の特性・目的に沿った適正な運営を行っている。また、魅力ある特別展の開催や、来館しやすく見学しやすい環境づくりに積極的に取り組む等、サービス向上を図っている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 前年度に行った区制70周年記念事業の無料入館者数が減となり、入館者数が前年度実績を下回った。臨時開館や新たな書籍・グッズの作成等の取り組みが効果をあげているが、より効果的な館のPRが必要である。</p>